

7月定例教育委員会会議 議事録

令和元年7月28日  
午後2時開会  
吹田市立博物館講座室

出席委員

原田勝 教育長  
大谷佐知子 委員  
安達友基子 委員

谷口学 教育長職務代理者  
和泉慎次 委員  
福田知弘 委員

出席説明員

橋本敏子 学校教育部長  
道場久明 学校教育部次長兼教育総務室長兼務  
生駒靖子 教育政策室長  
中井建志 指導室参事・指導主事  
奥田智子 教育政策室主幹・指導主事  
松本直史 指導室主幹・指導主事  
櫻井仁之 指導室主幹・指導主事  
橋本道信 指導室主幹・指導主事  
川添龍次 指導室主幹・指導主事  
前田洋平 指導室主幹・指導主事  
坂本健一 教育センター主幹・指導主事  
上田一朗 教育センター主幹・指導主事

大江慶博 教育監  
植田聡 学校教育部次長兼指導室長兼務  
草場敦子 教育センター所長  
中西多恵子 指導室参事・指導主事  
西貴美子 指導室主幹・指導主事  
植田陽介 指導室主幹・指導主事  
浦憲太 指導室主幹・指導主事  
前田壮賢 指導室主幹・指導主事  
田淵真司 指導室主幹・指導主事  
坂下剛 教育センター主幹・指導主事  
矢幡渚 教育センター主幹・指導主事

記者

市川泉 教育政策室参事

## 7月定例教育委員会会議 議事録

午後2時 開会

- 原田勝教育長 　　ただ今から7月定例教育委員会会議を開催いたします。  
署名委員に福田委員を指名いたします。  
本日の記録者に市川教育政策室参事を指名いたします。  
本日の傍聴席の数について事務局から説明してください。
- 生駒靖子教育政策室長 　　本日の傍聴席の設置可能数は77席で、現在の傍聴希望者数は22名で  
ございます。
- 原田勝教育長 　　それでは、本日の傍聴は77名まで許可したいと思いますが、いかがで  
しょうか。
- 全委員 　　異議なし。
- 原田勝教育長 　　異議なしと認め、本日の傍聴は77名まで許可します。
- 傍聴者入場 —
- 原田勝教育長 　　本日は、令和2年度使用教科用図書の採択をいたしますので、まずは、  
事務局より、教科用図書の選定に関して全般的な説明をしてください。
- 中西多恵子指導室参事・指導主事 　　令和2年度使用教科用図書選定の全体の流れについて、御説明申し上げ  
ます。選定につきましては、吹田市義務教育諸学校教科用図書選定委員会  
に対し、吹田市教育委員会より令和元年5月16日に諮問を行いました。  
選定委員会は、小学校の校長会・教頭会・教育研究会、吹田市PTA協  
議会のそれぞれの御代表から構成される、教科書採択に係る附属機関で  
ございます。  
教育委員会からの諮問内容は、令和2年度使用教科用図書（小学校用）、  
及び特別の教科 道徳を除く令和2年度使用教科用図書（中学校用）につ  
いて調査研究の上、答申すること、令和2年度使用の学校教育法附則第9  
条に規定される教科用図書について、検討のうえ、種目ごとに意見を答申  
することでございます。  
この諮問を受けまして、選定委員会は、それぞれの分野に調査員をおい  
て、調査研究を行い、（1）公正な選定に努めること、（2）人権尊重の趣  
旨を基本的に踏まえることに留意しながら、慎重に審議を重ね、7月9日  
に教育委員会へ答申されたところです。  
答申につきましては、資料を御覧ください。  
以上、簡単ではございますが全体の流れという事で、御説明をさせてい  
ただきました。
- 原田勝教育長 　　事務局から教科書採択全般についての説明がありましたが、この件につ  
いて、何か御質問はございませんでしょうか。
- 和泉慎次委員 　　今回の教科書採択にあたりまして、学習指導要領改訂のことも踏まえて  
の採択となると思いますが、今回の改訂で大きく変わったところを改めて  
説明してください。

中西多恵子指導室参事・指導主事	<p>これまでの学校教育が目指してきた、生きる力の育成という目標は変わりません。よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る、という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すことが示されました。</p> <p>社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を發揮し、多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り開き、未来の創り手となるために必要な力を育むことを目指し、身に付けたい力の明確化が図られました。</p>
谷口学教育長職務代理者	<p>先程の学習指導要領の改訂のことで、いわゆる身に付けたい力あるいは何ができるようになるか、の明確化ということで、各教科書にどのような形で反映されていますか。</p>
中西多恵子指導室参事・指導主事	<p>育成を目指す資質・能力が、何ができるようになるかと明確に示され、3つの柱として整理されました。「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の3つです。</p> <p>単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、すべての教科でこの3つの柱に基づく子供たちの学びを後押しし、社会に出てからも、学校での学びを活かせるよう、3つの力をバランスよく育むということになり、いずれの教科書も、この考えに基づいて、改訂が行われております。</p>
福田知弘委員	<p>選定委員会から教育委員会に答申する際に、どのような観点に留意されましたか。</p>
中西多恵子指導室参事・指導主事	<p>諮問の際には、適正かつ公正な採択の確保の徹底を依頼しました。答申時には、公正な選定に努め、6つの観点に留意した報告がありました。</p> <p>6点につきましては、目標・内容の取扱い、人権の取扱い、内容の程度、組織配列、創意工夫、補足的・発展的な学習です。</p>
大谷佐知子委員	<p>小学校の特別の教科 道徳についても、もう一度採択を行うのですか。</p>
中西多恵子指導室参事・指導主事	<p>平成29年度に採択が行われたところですが、2年間は、その教科書を採択しなければならないということになっており、平成30年度、令和元年度の2年を経て、各者、前回の採択時と変更している点もあり、今年度新たに採択を行うこととなります。</p>
原田勝教育長	<p>学校現場の先生方の意見はどのように反映されているのですか。</p>
中西多恵子指導室参事・指導主事	<p>全種目において、校長・教頭・首席・指導教諭を含む、専門的な視点を持つ3名の教員を、調査員として委嘱し、調査研究をしてまいりました。</p> <p>また、調査員以外の教員につきましても、昨年度より1校増やし、小学校6校で展示会を行い、閲覧をした上で、各校、各種目、1名ずつの参加者による意見交流会を行いました。その際の意見は調査活動にも参考にさせていただきました。</p>
谷口学教育長職務代理者	<p>外国語は、はじめての採択となりますし、市民も教科書採択に関しては興味があると考えますが、市民が教科書を見る機会をどのように設けましたか。</p>
中西多恵子指導室参事・指導主事	<p>5月27日から7月3日まで、教科書センターである男女共同参画セン</p>

ターと、山田駅前図書館、さんくす図書館で展示を行いました。

安達友基子委員

吹田市内の6小学校においても閲覧できるようにし、これらの情報につきましては、吹田市のホームページ、市報等で周知を図ってまいりました。  
市民や保護者の意見は例年集約されていると思いますが、どのような内容で何件ぐらいありましたか。

中西多恵子指導室参事・指導主事

また、その意見は、選定委員会で反映されているのでしょうか。  
先程の9か所において、自由記述形式で意見箱による集約を行い、合計91件の御意見をいただきました。

内容につきましては、社会科と特別の教科 道徳について、たくさんの意見をいただきました。

内容は、賛否が分かれるテーマについては、一面的な記述にならないようにという意見、子供たちに平和・人権を伝える教材にしてほしいという意見、子供の実感や思考が伴わない授業ではなく、広く、「ことば・文化」についての認識を深め、異文化との出会い、広い世界へと目を向ける意欲を育てる授業をしてほしいといった意見もございました。

意見書につきましては、選定委員会に資料として提示しております。

また、選定委員会の中にも、保護者代表として、吹田市PTA協議会の方がおられ、保護者の視点、教員の視点で、それぞれの教科書に対しての見方から意見を交換し、選定を進めてまいりました。

福田知弘委員

要望書は今回ありましたか。

中西多恵子指導室参事・指導主事

3件ありました。

原田勝教育長

他に、この件について、何か御意見はございませんか。

全委員

異議なし。

原田勝教育長

質問がないようですので、それでは、日程第1 議案第17号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（国語）の採択について」審議及び採択を行います。事務局の説明を求めます。

中西多恵子指導室参事・指導主事

日程第1 議案第17号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（国語）の採択について」の御説明を申し上げます。

選定委員会からの答申に基づき、実際の教科書を用いながら、内容について担当指導主事より御説明申し上げます。

全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。

過半数に達していない場合は、もうしばらく議論を尽くしていただいて、議決いただくかたちになります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会の会議の議事は、出席委員過半数で決し、可否同数の時は教育長の決するところによるという規定になっております。

過半数ということですので、半数を超えるということの取扱いになります。6人の出席委員でしたら、4人以上の委員の賛成、あるいは、同数の場合でしたら、教育長の決定という方法で議決ということになります。

なお、説明の際、資料等を参考にすることが多くございますので、着席したまま御説明させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、別表1-1、令和2年度使用教科用図書小学校用（国語）の選定具申の発行者順に御説明いたします。

はじめに、「東京書籍」につきまして、御説明申し上げます。

まず、5年生の教科書を御準備ください。32ページ、33ページを御覧ください。

説明的な文章では、33ページ「動物たちが教えてくれる海の中の暮らし」のように、動物や昆虫などの自然科学をテーマにしたものや、78、79ページ「新聞記事を読み比べよう」などのメディアに関するものが取り扱われ、現代社会の課題に向き合うよう促されています。

また、「書く」ために、78ページ右側星印「言葉の力」として単元冒頭や、88ページ、単元末に、身に付けたい力が明確に掲載されています。

続いて、6年生の教科書、16ページを御覧ください。

「朗読で表現しよう」で扱われている、「サボテンの花」、「生きる」、166ページ「関連する作品を読んで、すいせんしよう」で扱われている、「ヒロシマのうた」のように、主に5・6年生で、命の尊厳や生きることの価値について育む教材や、自然環境を大切に思う心を養う教材が取り入れられています。

86ページを御覧ください。

著名人が本について語る「本は友達」や、各学年に応じた本が紹介されている「～年生の本だな」など、読書意欲の高まりや読書習慣の形成に役立つよう工夫されています。

189ページを御覧ください。

「こんな本もいっしょに」のように、読み物教材の終わりには、同一作者の本やテーマに関連した本が紹介されています。

続きまして、「学校図書」につきまして、御説明申し上げます。

6年生上巻を御準備ください。目次を御覧ください。

「学校図書」では、すべての学年において年間を通して各領域を学習できるよう配列され、各学年内で何を学ぶのかが分かりやすく整理されています。

学びの見通しもあり、児童自身が目標を立てやすくなっています。

続いて、92ページを御覧ください。

1年生下巻から6年生下巻までにわたって、各巻に設定された「読書の部屋」では、児童が広く読書に親しむことができるよう、発達段階に応じた様々な図書が紹介されています。

72ページ「電子メールで質問しよう」、132ページ「目的に応じて調べよう」など、インターネットやコンピュータの活用、プロジェクターによる資料提示など、児童が情報機器に触れられるような活動を設定するように配慮されています。

続いて、36ページ「言葉の泉」、102ページ「言葉のきまり」におい

て、言葉の特徴や決まりが掲載されており、言語に関する知識や感覚を養うことができるよう工夫されています。

続きまして、「教育出版」につきまして、御説明申し上げます。

2年生上巻、6年生上巻を御準備ください。まずは、2年生上巻の目次を御覧ください。

「教育出版」では、各領域が偏りなく配置され、1つの単元で複数の領域が学べるように扱われています。また、配列については、2学年で同時期に同じ系統の学習をすることによって、螺旋的、反復的な学習ができるように工夫されています。

続いて、54ページを御覧ください。

「図書館で本をさがそう」、「本で調べよう」など、説明的な文章と情報活用の教材とを関連させて展開できる教材が取り上げられています。

続いて、6年生の教科書を御準備ください。48ページを御覧ください。

前年に学習した漢字を用いた「～年生で学んだ漢字」では、文章を書くことで漢字の定着を図るよう取り扱われています。

続いて、49ページを御覧ください。

右側青文字「筆者の考えをよみ、説明の仕方の特徴をとらえよう」でめあての提示、63ページ左側黄色い字「ふりかえろう」で振り返り、60ページ、61ページの1から4「確かめよう」、「考えよう」、「深めよう」、「広げよう」のように、学習の進め方を提示し、児童が何のために、何を学習するのか、見通しをもって学べるように配慮されています。

最後に、「光村図書」につきまして、御説明申し上げます。

1年生上巻、5年生、6年生の教科書を御準備ください。まず、6年生の教科書36ページを御覧ください。

言葉の特徴や決まりなどの言葉の学習が「言葉」として掲載されていて、言語に対する知識や感覚を養えるようにしています。

また、大きな単元の間には、例えば、14ページ「詩を楽しもう」、38ページ「季節の言葉」、44ページ「漢字教材」などの小単元を位置付け、メリハリのある構成になっています。

続いて、132ページを御覧ください。

「話すこと・聞くこと」の領域では、日常生活と結び付けてイメージしやすい題材と言語活動が設定されていて、コミュニケーションの素地が身に付けられるよう工夫されています。

次に、78ページを御覧ください。

学校図書館の活用については、「本は友達」の中で、全学年を通して系統的な読書指導の取組が掲載されています。

続いて、5年生の教科書を御準備ください。

5年生72ページ「みんなが過ごしやすい町へ」、250ページ「点字と手話」のように、障がいのある人との共生を学ぶ教材、その他、世界の民話を通して興味・関心を引く教材、言葉の広がりを通じて外国語や物の見方、ユニバーサルデザインについて学ぶ教材等で、自ら課題を設定し、共

原田勝教育長 和泉慎次委員	<p>生社会の実現に向けた意欲や態度が養われるように工夫されています。</p> <p>以上、国語に関わる4者につきまして、説明させていただきました。</p> <p>それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。</p> <p>国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育てることができるような工夫がされている教科書はありますか。</p>
櫻井仁之指導室主幹・指導主事	<p>特徴的なのは、「東京書籍」で、説明的な文章では、動物や昆虫などの自然科学をテーマにしたものや、新聞や情報などのメディアに関するものが取り扱われ、興味深く読ませようとしていることに加え、現代社会の課題に向き合うよう促されています。</p>
谷口学教育長職務代理者 櫻井仁之指導室主幹・指導主事	<p>伝統的な言語文化に関しても、親しみやすいように扱われていますか。</p> <p>各発行者ともに、伝統的な言語活動においては、各学年に適した教材が用意されておりますが、「教育出版」では、昔ばなしから近代文学まで、触れておきたい作品や言語文化に触れながら日本語の美しさや気付き、読書量を高めることができるようになっております。</p>
福田知弘委員	<p>コミュニケーション力、表現力、思考力を高めるためには、まず、語彙力を高めることが必要であると考えますが、語彙を増やすという観点ではそれぞれの教科書はどのようになっていますか。</p>
櫻井仁之指導室主幹・指導主事	<p>各者それぞれ工夫されていますが、例えば、「光村図書出版」の言葉を題材とした単元では、各学年に「言葉について考えよう」の特設単元を設けたり、2年生以上の上巻付録に「言葉の宝箱」を設けたりして、豊かな語彙に対する知識や言語が養われるように構成されています。</p>
安達友基子委員	<p>児童が主体的に学習に取り組むための手立てはありますか。</p>
櫻井仁之指導室主幹・指導主事	<p>「東京書籍」は、学習の進め方の手順、ヒントが学びのポイントとして「ことばの力」と示されています。</p> <p>何を学ぶかを明確にして、「できた」という体験を通じて、国語が好きになるように繋げています。</p> <p>「光村図書出版」は、「学習についての見通し」、「振り返りのページ」を設けていて、学習した学びの跡が残るようにしています。</p>
原田勝教育長	<p>単元・教材と、他の領域や教科との関連についてはどのようになっていますか。</p>
櫻井仁之指導室主幹・指導主事	<p>「東京書籍」では、他教科との関連を重視し、自然や環境に関わる題材が取り扱われています。</p> <p>6年生では、「書くこと」の領域で、社会科で取り扱う内容と関連した題材が取り入れられ、他教科と繋げて学習できるよう配列されています。</p> <p>「学校図書」では、5年生では、「書くこと」の領域で表やグラフを取扱い、算数科の内容と関連付けて学習できるようになっています。</p> <p>また、「光村図書出版」では、他教科や領域をまたがって言語活動ができ</p>

るように教材が配列されており、5年生では、「書くこと」の領域で、「クラブ活動」や「学級会活動」と関連付けた教材が取り入れられ、「話すこと・聞くこと」の領域に繋げて学習できるよう配列されています。

谷口学教育長職務代理者

情報機器や学校図書館を利用するなど、児童の興味・関心を広げる工夫はありますか。

櫻井仁之指導室主幹・指導主事

各者、様々な工夫をされていますが、特に「教育出版」では、説明的な文章と情報活用の教材を関連させて展開できる教材として、2年生では「すみれとあり」の後に「図書館で本を探そう」、3年生では、「めだか」の後に「本で調べよう」、4年生では、「花を見つける手がかり」の後に「分類をもとに本を見つけよう」が取り上げられ、目的意識を持って正確に読み取り、捉えた情報を選択、吟味し、発信するように設定されています。

大谷佐知子委員

読書活動の形成など、進んで学習に取り組める工夫はありますか。

櫻井仁之指導室主幹・指導主事

「東京書籍」の教科書では、読み物教材の終わりに同一作者の本やテーマに関連した本が紹介されています。

また、著名人が本について語る「本は友達」や各学年に応じた本が紹介されている「～年生の本だな」など、読書意欲の高まりや読書習慣の形成に役立つよう工夫されています。

「教育出版」では、各学年読み物の後に、「本を読もう」で教材に関連した本が紹介され、並行読書など、多様な読書ができるよう学習活動を支援し、巻末付録には、「～年生で読みたい本」と題して、様々なジャンルの本が紹介されています。

安達友基子委員

人権的な配慮について、特徴的な発行者はありますか。

櫻井仁之指導室主幹・指導主事

「光村図書出版」では、3年生で世界の民話を通して児童が興味・関心を持って読み進めていける教材、4年生で障がいのある人との共生を学ぶ教材、5年生で言葉の広がりを通して外国語やものの見方についてや、身の回りにあるユニバーサルデザインについて学ぶ教材を通して、自分で課題を設定し、共生社会の実現に向けた意欲や態度が養われるようにしています。

また、「学校図書」では、2年生に世界の挨拶が取り扱われており、世界の風土や文化を理解し、児童が興味・関心を持って読み進められるような構成になっています。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、国語についての審議を終了いたします。

それでは、議案第17号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用(国語)の採択について」の委員の御意見をお願いいたします。

安達友基子委員

私は、「光村図書出版」がいいと思います。

理由としては、先程御質問もさせていただいたとおり、人権的な配慮に手厚いということがありました。

5年生では、点字に関することも挙げられていましたし、6年生の教材でも、1つの物語を、出てくる当事者の2人の視点から見ているところもあり、相手の気持ちを思いやることにも繋がる、良い教材だと思いました。

福田知弘委員	<p>私は、「光村図書出版」がいいと思います。</p> <p>理由としましては、先程の語彙力の工夫の説明もありますし、視野を広げて思考力を養うために読書の時間の確保ですとか、読書の興味ということで、読書指導の取組が全学年を通して掲載されています。</p> <p>そのための教材が非常に興味深いものが多い、ということが理由でございます。</p>
大谷佐知子委員	<p>私も先程質問させていただきました、読書活動についての取組については、各者取り組んでくださっているということは分かったのですが、みなさんが質問された中で特に、コミュニケーション能力を高めるための語彙力であったり、人権の配慮についてということで、私は「光村図書出版」がいいと思いました。</p>
和泉慎次委員	<p>私は、「東京書籍」を推薦させていただきたいと思います。</p> <p>これは、文章の中に自然科学であったり、また、新聞等の情報が取り扱われておりまして、現代社会に向き合うようにされておりました。</p> <p>そしてまた、単元ごとに身に付けたい力が明確に掲載をされている、ということから推薦をさせていただきたいと思います。</p>
谷口学教育長職務代理者	<p>私は、「光村図書出版」を推薦したいと思います。</p> <p>2年生以上で、「言葉の宝箱」というかたちで語彙が増えるように持ってきており、また、子供が読んで面白いな、というような、例えば3年生下巻では65ページの「3年峠」であるとか、4年生では上巻67ページにある「一つの花」というような内容に関しましては、読んで面白いだろうなということではないかと思いました。</p> <p>また、子供だけでなく先生に対してもICTのサポートをしているということも含めて「光村図書出版」がいいのではないかと思います。</p>
原田勝教育長	<p>私は、「光村図書出版」が良いと思いました。</p> <p>学びの見通しができるように工夫されているということと、非常に馴染みのある物語が多いということ、また、図書館の活用について系統立てて説明がされているということ。</p> <p>そしてまた、メリハリのある構成と同時に、先程の話と重なりますが、ユニバーサルデザインを学ぶ教材として、非常に効果的な学びができるのではないかと思います。</p>
原田勝教育長	<p>それでは、議案第17号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（国語）の採択について」は、「光村図書出版」を採択することといたします。</p>
原田勝教育長	<p>次に、日程第2 議案第18号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（書写）の採択について」審議及び採択を行います。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
中西多恵子指導室参事・指導主事	<p>日程第2 議案第18号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（書写）の採択について」の御説明を申し上げます。</p> <p>書写については5つの発行者がございます。全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。</p>

それでは、別表1-2、令和2年度使用教科用図書小学校用（書写）の選定具申の発行者順に御説明いたします。

それでは、書写にかかわる5者につきまして、御説明いたします。

毛筆の始まる3年生の各者の見本本を中心に進めてさせていただきます。

はじめに、「東京書籍」につきまして、御説明申し上げます。

まず、3年生巻頭ページを御覧ください。

折込みを開いたスペースも使い、「集めて使おう、書写のかぎ」として、児童が主体的に学習を進めるためのポイントが示されています。

24、25ページを御覧ください。

見開きで「曲がり」と「そり」を扱うページですが、25ページの中央に「書写のかぎ」が示されています。また、同じページの左端に関連する部分が赤・青で示されております。

44ページを御覧ください。

既習事項のまとめとして、47ページまで示されています。

次に、16ページを御覧ください。

毛筆で「折れ」を学習するページですが、毛筆での学習の後、硬筆に活かすために、「折れ」の要素を含む漢字を4つ紹介し、練習するスペースが設けられています。

このように、毛筆での練習を日常生活に活かすための実践練習の場が多く設けられています。

次に、1年生10ページを御覧ください。

硬筆での学習が主となりますが、毛筆の見本が随所に提示されています。また、11ページでは水書での学習が紹介されており、巻末には、水書用紙が添付されています。

続きまして、「学校図書」につきまして、御説明申し上げます。

3年生20ページを御覧ください。

原寸大の手本が各ページで設けられており、児童にとって見やすいものとなっております。毛筆で「曲がり」、「折れ」、「点」を学習するページですが、「ビル」とカタカナを扱っております。

学年が進むにつれて複雑になる漢字の字形に活かすことができ、発達段階を考えて設定されております。

22ページを御覧ください。

△の記号、鍵の絵と数字、→の記号、一言アドバイス、補助線など書き方の注意点が細かに示されています。

23ページを御覧ください。

左端に「ふりかえろう」として、マスが設けられています。

このページのように、めあてを活かして自分で考えた言葉を書く單元も多く、日常生活に活かせるように工夫されています。また、各学年のまとめとして、硬筆で書き込む欄が多く用意されております。

44ページを御覧ください。

硬筆の練習を通して、3年生では俳句、4年生では短歌に触れる機会をつくっています。

続きまして、「教育出版」につきまして、御説明申し上げます。

3年生36ページを御覧ください。

こちら「曲がり」と「折れ」について、カタカナの「ビル」を取り上げています。

37ページを御覧ください。

ページの左側に「学習の始めと終わりに書こう」として、始めの「ためし書き」ではめあてを意識させること、「まとめ書き」では学習を活かすこと、というように毛筆での学習の前後で、めあてを達成できたか実感できるように工夫されています。

33ページを御覧ください。

他教科との関連として、ここでは社会科での活用も踏まえて、「お店見学のお礼じょう」を取り上げています。

また、49ページでも同様にメモの取り方を取り上げています。

少し戻りますが、46ページを御覧ください。

文字に興味を持たせるようなトピックも各学年で取り上げています。

続きまして、「光村図書出版」につきまして、御説明申し上げます。

まず、人権の取り扱いについて、各学年で配慮されており、特に5、6年生において様々な角度から迫る教材が揃っています。

5年生22ページを御覧ください。

「文字の配列」について、硬筆で文字の配列について学習するページになりますが、新聞の内容にアイヌの文化を取り上げています。

他にも、東日本大震災時の避難所の壁新聞やオバマ大統領の広島訪問について、6年生ではバリアフリーに関するポスターを取り上げるなど多くの視点で配慮がされています。

次に、1年生2、3ページを御覧ください。

1、2年生では「しゅしゃたいそう」を取り上げています。

書写に必要な筋肉を使うことを意識させ、良い姿勢を維持させるための工夫がされています。

続いて、巻末44、45ページを御覧ください。

45ページで水書シートを添付して水筆で線の始めと終わりを意識させることも取り上げています。それに加えて、44ページでは「空に大きくかこう」として「空書き」を紹介しています。

学年変わりまして、3年生巻末57ページを御覧ください。

毛筆学習の際に手で大きく文字の形やバランスを体感させることで技能に繋げるよう設定されています。

続いて、13ページ左上を御覧ください。

二次元コードが單元ごとに記載されています。教員にとっても筆づかいについて、より視覚的に分かりやすく指導することができるようになっていきます。

3年生巻頭には「確かめようシール」が添付されるなど児童の自己評価や相互評価にも活用できるようになっています。

続きまして、「日本文教出版」につきまして、御説明申し上げます。

3年生1、2ページを御覧ください。

折込みを開く形で「書写学習の進め方」が示されています。上段に学習の流れを示し、下段に書写学習として具体的な活動を併記することで、教科書を用いた学びの手順や方法を児童自身が学べるように工夫されています。1年生8、9ページを御覧ください。

1、2年生でも「このきょうかしよのつかいかた」として、3年生以降の学習に繋がる学び方を示しています。

合わせて8ページの右下を御覧ください。

1、2年生では「みずかきシート」の活用について示されています。

12ページを御覧ください。

ページ番号の上にマークが示されています。

続いて、巻末を御覧ください。

「みずかきシート」とともに、写真で書く様子を示しながら、書き始めと書き終わりを意識させ、3年生以降の毛筆への繋がりを持たせるための工夫も見られます。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

導入から発展、各領域等の配列のバランスで、特徴的な発行者はありますか。

どの発行者も毛筆と硬筆、文字への関心、発展的事項等について、バランスよく配列し、日常使っている文字をより良くしようと意識付けされています。

特徴的なものとして、「学校図書」では、全学年で点画の書き方が具体的に分かりやすく解説されています。また、高学年では、硬筆の練習量が多くなるように書き込み欄が多く取られています。

また、「光村図書出版」では、1、3、5年生で「空書き」について、2、4年生で原稿用紙の書き方を取り上げているように、学習に必要な知識や技能を繰り返し取り上げて、定着を図るような構成になっています。

文字に対する興味・関心を高めるような、日常生活への結びつきがある単元構成となっていますか。

どの発行者も文字の起源や成り立ちについて各学年で取り上げ、文字への興味・関心を高める項目を取り上げています。

「東京書籍」は、各学年に「文字のいずみ」として、3年生以上では、巻末で「文字に込めた思い」をピックアップし、七夕の短冊や地元紹介のリーフレット、豊臣秀吉の手紙、子どもの命名用紙など様々な例を取り上げています。

また、「教育出版」は、巻頭の「がっこうのもじたんけん」、「町の文字たんけん」など児童の身近なところから興味を持たせ、全学年で「知りたい文字の世界」、6年生ではパスポートや提灯、マンガで用いられる擬音表現

原田勝教育長  
和泉慎次委員

坂下剛教育センター主幹・指導主事

谷口学教育長職務代理者

坂下剛教育センター主幹・指導主事

など社会に結び付ける工夫をしています。

「日本文教出版」は、「ことばのまど」として、発達段階に即した内容で、語彙を豊かにすることをねらいとするトピックを設けています。

大谷佐知子委員

書写の指導が苦手と感じる先生方への手立てはありますか。

坂下剛教育センター主幹・指導主事

どの発行者も、授業や家庭学習でも利用できる動画資料を作成し、インターネット環境の中で利用できるよう、サイトへのリンクの仕方を紹介しています。

「光村図書出版」は、2次元コードが多く記載され、見本を書くことが難しい教員の助けとなっています。

「学校図書」は、裏表紙に「保護者の方へ」という欄を使って、単元と何が身に付くかを示した上で、QRコードをいくつかのページに記載しています。

また、「教育出版」は、QRコードを「まなびリンク」として巻頭の目次で示し、各学年の学習を動画で確認できるようになっています。

福田知弘委員

他教科との関連について、特徴が見られる発行者はありますか。

坂下剛教育センター主幹・指導主事

どの発行者も硬筆の扱いの中で、他教科の学習で活かせる題材を選び、書写での学習の成果がすぐ発揮できるようにしています。

「東京書籍」は、理科の実験記録の書き方を取り上げ、教科との関連付けを図っています。

教育出版では、「レッツトライ」として、算数ノートを使った横書きの書き方や、社会の新聞づくりを使って、まとめ方について取り上げています。

「学校図書」は、「都道府県名を書こう」のページにQRコードを記載し、開くと都道府県にちなんだ各地の写真が見られるようになっています。

原田勝教育長

指導の観点や学習評価が分かりやすくなるように工夫している発行者はありますか。

坂下剛教育センター主幹・指導主事

どの発行者も主体的・対話的で深い学びに繋がる学習の流れを示すページを設け、児童が進め方を確認できるようにしています。

「東京書籍」は、「書写のカギ」を学ぶことを全体の流れとして示し、単元の中でも、ポイントとなる言葉を復習する欄を用意しています。

「光村図書出版」は、自己評価欄を設け、ねらいを示す言葉と点画の見本が大きく示されています。ポイントとなる点画の扱いを「たいせつ」と題した枠に一文でまとめ、学習の流れや振り返り等をコンパクトに示す構成にしています。

「日本文教出版」は、目次の下段に見本を示しながら、実際に学習を進めるイメージを持たせ、各単元では、ねらいに沿った詳しいポイントを文字の色を変えて示すなどして、児童が意識できるようにしています。

安達友基子委員

1年生で初めて鉛筆を持つ児童や3年生での毛筆の導入部分について、各発行者どのような特徴がありますか。

坂下剛教育センター主幹・指導主事

どの発行者も「文字を書く姿勢」、「書きやすい持ち方」、「道具の扱い」といった日常から意識付けさせたいことを擬音や写真、イラストを用いて示しています。加えて、低学年で絵筆等を使った毛筆への興味・関心を高

める工夫もあります。

特徴的なものとして、「光村図書出版」は、姿勢保持の習慣化に向けて、「しょしゃたいそう」を取り入れたり、3年生では、自己評価・他者評価の手立てとして「確かめようシール」を用意するなど、導入期の学習の進め方に配慮されています。

また、「日本文教出版」は、1、2年生で示した学習の流れに3年生以降で書写学習の進め方を並行して示すことで、硬筆に活かすことが初めに確認できるように構成されています。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、書写についての審議を終了いたします。

それでは、議案第18号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用(書写)の採択について」の委員の御意見をお願いいたします。

安達友基子委員

私は「光村図書出版」がいいと思いました。

理由としては、国語に引き続いて人権に対する意識が高いと思ったことと、また、毛筆に入ったときの筆の向き、毛先の向きなどもイラストが出てきたりだとか、先程の御説明の中でもあった、シールで「ドン」、「スッ」など子供に分かりやすいのではないかと思います。

また、書写の指導が苦手な先生のためにも、配慮が行き届いていて良いと思いました。

福田知弘委員

私も「光村図書出版」がいいと思いました。

文字を学ぶということが基本ですけども、文字に関する様々なトピックスを様々な角度から取り上げられていると。文字の歴史ですとか、文化だとか、そういうところが大切かと思いましたので選択させていただきました。

大谷佐知子委員

私も「光村図書出版」が良いと思いました。

理由は、全学年に文字への興味を持たせるようなコラムが掲載されていたり、国語や他教科と繋がりを意識した資料が多かったり、目次に繋がるように書かれている見開きの構成になっているのがいいと思いました。

また、書写に対して必要な筋肉を鍛えるというような、良い姿勢を意識させる工夫が掲載されているのもいいと思いました。

和泉慎次委員

私も「光村図書出版」を推薦させていただきたいと思います。

特に、1年生での良い姿勢を維持させる工夫が色々と考えられておりますし、また、全学年に対して、文字への興味を持たせる内容が随所に考えられているというところから推薦させていただきたいと思います。

谷口学教育長職務代理者

私は「日本文教出版」がいいのではないかと思います。

というのは、書写にシールを使うというのはあまり私自身、好みではありません。

また、「東京書籍」も良い本なのですが、水書シートが赤色というところにも少し引っかかりまして、字が見た感じ綺麗ですし、「ことばのまど」等に関しましても「日本文教出版」が良いと思いました。

原田勝教育長

私は、「光村図書出版」を選ばせていただきました。

人権の取扱いで各学年で非常に配慮があつて多くの視点が見られたということ。また、重なるのですが、「しょしゃたいそう」を取り入れて、低学年の頃から良い姿勢を維持させる工夫というのが良いと思いましたので、「光村図書出版」を選びました。

原田勝教育長

それでは、議案第18号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（書写）の採択について」は、「光村図書出版」を採択することといたします。

原田勝教育長

次に、日程第3 議案第19号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（社会）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

中西多恵子指導室参事・指導主事

日程第3 議案第19号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（社会）の採択について」の御説明を申し上げます。

社会については3つの発行者がございます。全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。

前田洋平指導室主幹・指導主事

それでは、別表1-3、令和2年度使用教科用図書小学校用（社会）の選定具申の発行者順に御説明いたします。

それでは、社会にかかわる3者について御説明いたします。

まず、「東京書籍」です。

5年生上巻24ページを御覧ください。

全学年に、「学習の進め方」のページがあり、「つかむ・調べる・まとめる・生かす」という学習過程が、全学年を通じて統一されています。

また、1時間ごとに「つかむ」、「調べる」等の見出しがしっかりと書かれており、この時間は学習過程のどの段階なのか、教師も子供も理解しやすくなっております。

各単元の「つかむ」の段階では、単元の学習課題とともに、「調べること」も明示してあり、児童が見通しを持って調べ学習を進められるような工夫があります。

「まとめる」では、まとめ方が記され、児童がまとめ方を習得する参考になります。

また、社会への関わり方を選択・判断する力を養うために、「生かす」のコーナーが設置されています。提案文を書いたり、自分にできることを考えたり、意見をまとめたりするなど、様々な学習活動が全学年で用意されております。

13ページを御覧ください。

児童の発達段階に応じた文の量と、分かりやすい表現で記述されています。学習課題はキャラクターの発言とともに設定されており、児童が課題意識を持ちやすい工夫がされています。

5年生下巻72ページを御覧ください。

情報の単元では新聞社の果たす役割として、平和記念公園の式典が取り上げられており、6年生歴史の教科書138ページでは、ひめゆり学徒隊の証言、戦没者追悼式の写真資料など、生命の大切さに触れた内容が多く

みられます。

また、5、6年生の教科書は上・下に分かれており、取り扱いやすくなっております。

29ページを御覧ください。

「学び方コーナー」の単元の中で、重要な知識や作業・体験活動に必要な観点を細かく提示することで、社会的な見方、考え方が養われるよう工夫されています。

次に「教育出版」です。

5年生4ページを御覧ください。

各単元で「つかむ・調べる・まとめる・つなげる」の流れで設定されています。各単元の導入段階で「学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう」の見出しがあり、問題解決学習の流れに沿って、調べ学習がしやすくなっています。

また、単元の最初の「学びの手引き」で見通しをたて、単元の終わりの「まとめる」で全体を振り返ることができます。

18ページを御覧ください。

1時間ごとの中心となる「問」と次の課題である「次につなげよう」が設定されており、単元を通して流れがつかみやすくなっております。

また、字のフォントが特徴的で、ユニバーサルデザインフォントが使われています。

192ページを御覧ください。

5年生の情報の単元では、観光に活かす情報通信技術について、グローバルな視点から情報について考えられるようになっています。

6年生215ページ「戦争と人々の暮らし」では、ひろげる活動の中で、世界の命を救った日本について資料が載せられています。

次に、「日本文教出版」です。

3年生教科書1ページから3ページを御覧ください。

各単元で「ぎもんを見つける・調べる・話し合う・まとめる・つたえる」の5つの段階で学習が進められています。

19ページを御覧ください。

単元の最終には、「見方・考え方」のコーナーがあり、学習してきたことを活かして、さらに次の課題について考える視点が明記されています。

40ページを御覧ください。

「わたしたちの学びを生かそう」のコーナーでは、児童が興味・関心を持ちそうな話題の詳しい説明資料を自主的・発展的な内容として取り上げて、自分たちの身近なところに生かす視点が書かれてあります。

5年生228ページを御覧ください。

「情報」で、医療と情報の関係が、選択単元として取り上げられており、命を守るためのICTの活用について、考えられるようになっています。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

国旗・国歌についての各者の取扱い、領土問題についての取扱いはどの

前田洋平指導室主幹・指導主事	<p>ようになっていますか。</p> <p>各発行者とも学習指導要領に基づき、4年生、5年生、6年生において、他国の国旗とともに、日本の国旗・国歌も示し、互いに尊重し合うことの大切さを明記しています。</p> <p>同様に、領土問題につきましても、5年生、6年生で、北方領土を取り扱い、竹島、尖閣諸島にも触れ、「日本の領土」、「日本固有の領土」と明記しております。</p>
福田知弘委員	<p>知識、技能を活用した問題解決的な学習について、各者の工夫を具体的に説明してください。</p>
前田洋平指導室主幹・指導主事	<p>「東京書籍」は「つかむ」、「調べる」、「まとめる」、「いかす」と全学年を通して、学習過程が分かりやすく提示され、系統立てて学習がしやすくなっています。</p> <p>「学びのポイント」を毎時間考えていくことで、問題解決的な学習展開が組み立てやすく作られています。また、各ページ、学習段階が見て分かるようになっております。</p> <p>「教育出版」は、全学年教科書の最初に社会的な見方、考え方を分かりやすく提示し、問題解決的な学習展開を組み立てやすく作られています。</p> <p>「日本文教出版」は「学び方・調べ方コーナー」で、自ら立てた課題に対する調べ方が提示され、問題解決的な授業を組み立てやすくする工夫が取り入れられています。</p>
和泉慎次委員	<p>社会への関わり方を学ぶために、また日常生活に結びつくような点について、各者どのような工夫がされていますか。</p>
前田洋平指導室主幹・指導主事	<p>各者ともに各単元の「まとめる」として、自分たちの生活について振り返ったり、自分に何ができるかを考えるコーナーがあります。</p> <p>「東京書籍」と「教育出版」は、時間配当もしっかりされていて、単元の最後にする活動もはっきりとしていて分かりやすくなっています。</p> <p>また「東京書籍」は、単元による迫り方のバリエーションが多く、教科書に書き込みもできるようになっています。</p>
安達友基子委員	<p>子供たちの興味・関心を高めることにかかわる各者の工夫を説明してください。</p>
前田洋平指導室主幹・指導主事	<p>資料の種類や配置、大きさなど、3者とも大変工夫され、子供が多くの資料から興味を持って、学習課題に迫りやすくなっています。</p> <p>「東京書籍」は学習課題が、キャラクターの発言をもとに設定されているため、児童にとって課題意識を持ちやすいように工夫されています。</p> <p>また、本文だけでなく、吹き出しを多く活用することによって、児童が1時間で何を学習していくのか、見通しが立てやすくなっています。</p> <p>また「教育出版」は、教科書内に「やってみよう」を取り入れており、作業を進めながら、児童の興味・関心を引き付ける工夫がされています。</p> <p>「日本文教出版」は、「わたしたちの学びをいかそう」の単元で、興味・関心を持ちそうな詳しい説明資料を、自主的・発展的な内容として取り上げています。</p>

大谷佐知子委員	<p>補充的な学習、発展的な学習など、個に応じた指導の充実に対しての配慮はありますか。</p>
前田洋平指導室主幹・指導主事	<p>各者に配慮は見られますが、「東京書籍」では、単元の「いかす」において、壁新聞やキャッチフレーズを考える、学習内容を使って表彰状を作成するなど、様々な学習の振り返り方が示されており、単元の特徴を生かしたまとめ方が設定されています。</p> <p>「教育出版」では、「解説」として、専門的な知識を補うよう工夫されています。</p> <p>「日本文教出版」では、マークで気付きと疑問が分かりやすくなっており、図や資料の通し番号が本文の説明と連動するよう工夫されています。</p>
原田勝教育長	<p>分冊と合冊の違いはありますか。</p>
前田洋平指導室主幹・指導主事	<p>「教育出版」と「日本文教出版」は合冊になっており、既習事項の振り返りがしやすくなっております。</p> <p>「東京書籍」のみ、5年生、6年生が上下巻に分かれており、高学年時の荷物の多さなどを考慮すると、取扱いがしやすい利点がございます。</p>
原田勝教育長	<p>他に何かございませんでしょうか。</p> <p>質問が出尽くしたようですので、社会についての審議を終了いたします。</p> <p>それでは、議案第19号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（社会）の採択について」の委員の御意見をお願いいたします。</p>
安達友基子委員	<p>私は、「教育出版」が良いと思います。</p> <p>理由としましては、高学年になってくると特に、国際問題や憲法の問題など、小学生といえども高度な問題が出てくると思うのですが、そういったものがどのように表現されているのかということを見たときに、両論あるものについては両論が比較的併記されていて、中立な視点で配慮されていると思いましたので、「教育出版」が良いと思いました。</p>
福田知弘委員	<p>私も「教育出版」が良いと思いました。</p> <p>理由としましては、資料がバランス良く構成されていること、また、多面的に考えながら、知識を深めることが一番有効的ではないか、と思いました。</p> <p>最後に、国際社会での日本の活動も、多面的に伝えているということから選びました。</p>
大谷佐知子委員	<p>私は、「東京書籍」が良いと思いました。</p> <p>「学びのコーナー」で、重要な知識や作業、体験的な活動で重要な観点を細かく提示していたり、社会的な生き方、考え方が工夫されている点が良いと思いました。</p> <p>また、児童の発達段階に応じた文の量や分かりやすさ、そういう表現が上手く記述されている点だとか、児童が課題意識を持ちやすいよう配慮されている点が良いと思いました。</p>
和泉慎次委員	<p>私も「東京書籍」を推薦したいと思います。</p> <p>児童が課題意識を持ちやすいような工夫が随所に設けられているところと、学年ごとの発達段階に応じた文の内容、表現というものが分か</p>

	<p>りやすく、理解しやすいということで、推薦させていただきたいと思いま す。</p>
谷口学教育長職務代理者	<p>私は、「日本文教出版」を推薦させていただきたいと思いま す。</p> <p>憲法についての書き方を6年生で比較してみまして、「日本文教出版」が 分かりやすいということと、江戸時代の日本政府に関して見てもやは り、「日本文教出版」が分かりやすいという気がしました。</p> <p>先程の説明にもありましたけれども、5年生の医療に関わる情報ネット ワークというような、命に関わるようなことに関しましても、きっちり書 かれているということで「日本文教出版」を推薦します。</p>
原田勝教育長	<p>私としては、「教育出版」が良いと思いました。</p> <p>レイアウトが見やすいということと、単元を通して流れがつかみやすい ということが良いと思います。</p> <p>また、多面的な意見が取り上げられており、ユニバーサルデザインを取 り入れられているということが良いと思いました。</p>
原田勝教育長	<p>したがって、社会につきましても、「教育出版」が3名、「東京書籍」が 2名、「日本文教出版」が1名と分かれ、過半数を超えていないため、もう 一度各委員の御意見を伺いたいと思います。</p>
安達友基子委員	<p>恐れ入りますが、もう一度安達委員からお願いいたします。</p> <p>私はやはり、「教育出版」が良いと思います。</p> <p>教科書の中で、今の政権であったり、総理大臣というのが大々的に出て くるのは、私としては少し抵抗があるので、そういった理由から選べな かった発行者がありました。</p>
福田知弘委員	<p>私も変わらず、「教育出版」を推薦いたします。</p> <p>両論併記というところでは、異なる意見を上手くまとめている、一番良 い教科書かな、と思います。</p> <p>また、子供の考え方はそれぞれかもしれませんが、色々考える素地 を与え、一方的に決めつけない、一番バランスが取れているのは「教育出 版」だと思いましたので、「教育出版」を推薦いたします。</p>
大谷佐知子委員	<p>例えば、「東京書籍」では、各単元で「つかむ」、「しらべる」、「まとめる」、 「生かす」というところが、「教育出版」では、「つかむ」、「しらべる」、「ま とめる」、「つなげる」。「日本文教出版」では、「ぎもんをみつける」、「しら べる」、「はなしあい、つたえる」、「まとめる」と単元としてあるのですが、 私は、「東京書籍」の「つかむ」、「しらべる」、「まとめる」、「生かす」とい うところが非常に大事だと思いますので、「東京書籍」を選択します。</p>
和泉慎次委員	<p>私は、先程、「東京書籍」を推薦させていただきました。</p> <p>しかし、内容については、各者、特徴を捉えながら進めておりますが、 今回、「教育出版」に推薦を変更させていただきたいと思います。</p>
谷口学教育長職務代理者	<p>私は今回も変わりませんので、「日本文教出版」とさせていただきます。</p>
原田勝教育長	<p>私は「教育出版」を推薦いたします。</p> <p>やはり多面的な意見を書かれているということと、単元の流れがつかみ やすいということとでございます。</p>

原田勝教育長

ということで、「教育出版」が過半数ということになりました。

それでは、議案第19号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（社会）の採択について」は、「教育出版」を採択することといたします。

原田勝教育長

ここで、教育委員会会議を3時40分まで休憩します。

—休憩—

原田勝教育長

教育委員会会議を再開します。

原田勝教育長

それでは、日程第4 議案第20号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（地図）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

中西多恵子指導室参事・指導主事

日程第4 議案第20号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（地図）の採択について」の御説明を申し上げます。

地図については2つの発行者がございます。全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。

矢幡渚教育センター主幹・指導主事

それでは、別表1-4、令和2年度使用教科用図書小学校用（地図）の選定具申の発行者順に御説明いたします。

はじめに、「東京書籍」につきまして、日本全体図・地域地図・世界全体図・地球儀のページなど、社会科学習で使用する基本的な地図が掲載されております。

また、全体を通して写真資料が多くなっており、児童が興味・関心を持つことができるよう工夫されています。

20ページから22ページを御覧ください。

見開きの日本全体図により、地図に慣れていない3年生や支援が必要な児童も、日本全体を捉えやすくなっています。

同じ見開きのページを御覧ください。

このページに限らず、地図ページ全体を通して、子供の吹き出しで様々なヒント等もあり、具体的に地図を使って調べることができるようになっています。

75ページを御覧ください。

この資料ページには、日本の歴史地図とともに世界史の地図が示されており、日本の歴史とともに世界の歴史を調べることができるよう配慮されています。

81ページを御覧ください。

このページでは、日本の自然環境や建物を、世界と比較しながら知ることができるようになっています。

次に、「帝国書院」につきまして、内容等については、社会科学習で使用する基本的な地図が掲載されており、3年生から6年生の社会科学習で活用できる様々な資料が掲載されていますが、「帝国書院」では特に、47ページから48ページに京阪神地域の拡大地図を見開きで取り上げています。

19ページを御覧ください。

19ページから28ページには、「広く見渡す地図」のページがあり、各都道府県の名所や名産などが示された大まかな地図が掲載されています。

どちらも、地図に慣れていない3年生や支援の必要な児童にとって、情報が捉えやすく、また児童が興味・関心を持つことができるよう構成されています。

9ページを御覧ください。

こちらから14ページまで続く「地図のやくそく」のページでは、地図に関する知識技能の基本的な内容である方位、地図記号、縮尺などについて大きく取り上げております。

また、例えば10ページ右上にあります、「トライ！」で学んだことを確認しながら学習することができるよう配慮されています。

87ページからの資料ページを御覧ください。

地図資料が多く、産業や自然環境等の関連する社会事象について、様々な視点から学ぶことができるようになっています。

99ページでは、日本と世界の結びつきについて取り上げられており、多様性の尊重や共生について考えることができるようになっています。

18ページ下段を御覧ください。

学びを深めるための様々な課題を示した「地図マスター」の欄が、全体を通して設けられており、具体的に地図帳を使用して調べることができるよう工夫されています。

最後に、どちらの発行者にも色覚特性への配慮として、色だけの区別ではなく形でも区別できるように配慮されておりますが、「帝国書院」では地図の色分けに加えて模様を入れ、区別できるようになっています。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

地図に対する、子供の興味・関心を引き出す工夫はどのようにされていますか。

視覚的に興味・関心を持たせるために、両者ともに写真資料は多くなっておりますが、「東京書籍」17ページ、沖縄の写真にあるように、より多い傾向でございます。

「帝国書院」では、多くのページに「地図マスター」の欄が設けられ、レベルを選んで取り組める工夫があります。

また、巻末では、地図マスターの課題をクリアするごとにマスを塗りつぶしていくことができ、意欲的に学習に取り組む仕掛けがあります。

他教科・領域との関連性は、どのように示されていますか。

「東京書籍」は、世界の地域地図で世界の食べ物を取り上げており、国際理解教育に活用できます。また、世界の地域地図には国名の英語表記があり、外国語活動にも活用できます。

「帝国書院」では、世界全図に国名の英語表記があり、主な国の挨拶も取り上げていることから、外国語活動で活用できます。また、世界の地域地図では、世界の有名な音楽の舞台や有名な物語の舞台を示し、音楽や国語での活用も考えられます。

原田勝教育長  
谷口学教育長職務代理者  
矢幡渚教育センター主幹・指導主事

福田知弘委員  
矢幡渚教育センター主幹・指導主事

和泉愼次委員  
矢幡渚教育センター主幹・指導主事

日本の領土についての取扱いはどのようになっていますか。  
どちらも適切に取り扱っています。

「東京書籍」については、15ページ、16ページが領土のページとなっており、北方領土の掲載がございます。尖閣諸島は沖縄のページで、竹島は島根県のページで、それぞれ写真付きで掲載されています。

「帝国書院」については、29ページから30ページで領土について取り扱っており、北方領土や尖閣諸島、竹島についても、同じページに写真付きで掲載されています。

安達友基子委員

命や平和の大切さに関連する内容についてどのように扱われていますか。

矢幡渚教育センター主幹・指導主事

どちらにも、沖縄の戦跡や軍用地、広島原爆ドームが記載されています。「東京書籍」は、沖縄の地図ページにひめゆりの塔の写真を載せており、近年の自然災害について写真付きで掲載しているページもございます。

「帝国書院」では、沖縄についてはもちろん、原爆の被害地図、自然災害については防災マップ等も掲載しており、どちらの発行者も命や平和の大切さについて考えることができるよう工夫されています。

谷口学教育長職務代理者

人権尊重の観点から、それぞれの地図帳でどのように配慮されていますか。

矢幡渚教育センター主幹・指導主事

「東京書籍」では、北海道の地図にアイヌ語の単語紹介を取り上げたり、索引のページにサッカーのワールドカップとオリンピックの開催国の地図を掲載する等、多様性の尊重や共生について考えることができるよう配慮されています。

「帝国書院」では、日本と外国との結びつきについての資料ページにおいて、輸出入の地図や、外国人観光客の写真、オリンピック・パラリンピック開催地の地図が取り上げられています。

また、巻末のページでは都道府県名の手話の紹介とともに、多様性の尊重や共生について考えることができるよう配慮されています。

大谷佐知子委員

それぞれの地図帳の主な特徴はどのようなものですか。

矢幡渚教育センター主幹・指導主事

「東京書籍」は、初めに絵地図や地図のでき方などの地図学習の導入をするようになっており、丁寧に地図学習を進めていくよう構成されています。また、写真も多く、視覚的に興味・関心を高める工夫があります。資料ページでは、歴史学習で活用できる資料が多くなっています。

「帝国書院」の地図帳の特徴は、導入のページで地図の基本知識・技能である方位や地図記号、縮尺などを取り上げており、3年生の地域学習を補うように工夫されています。また、地図帳の使い方についても、丁寧に解説し、地図資料が多くなっています。また、京阪神の拡大地図があり、堺市の地図を導入ページに使用したりするなど、大阪に関わる地図が多いのも大きな特徴です。

原田勝教育長

3年生から地図を活用することについての工夫はどのようにされていますでしょうか。

矢幡渚教育センター主幹・指導主事

「東京書籍」では、折込みの日本全図で日本全体を見渡すことができる

ため、3年生が日本の全体を捉えやすいと考えます。

「帝国書院」では、詳細な地域地図の前に、広く見渡す地図があり、名所や産物をイラストで大きく示していることで、地図帳に初めて触れる3年生にとって地図に興味を持ちやすく、また地図が細かすぎないために必要な情報を読み取りやすくなっています。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、地図についての審議を終了いたします。

それでは、議案第20号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用(地図)の採択について」の委員の御意見をお願いいたします。

安達友基子委員

私は「東京書籍」が良いと思いました。

理由としては、日本全図があるというのがやはり地図帳としては良いと思ったことと、写真が多くて分かりやすいと思ったこと、それともう一点は、領土問題があるところに関して、領土であるということを書けるのは当然のこととして、フラットに、あまり評価に立ち入らずに書かれているのも良いなと思いました。

福田知弘委員

私は「帝国書院」が良いと思いました。

1つは、広く見渡せる地図が挿入されていて、縮尺が多段階に分かれており、それに合わせて情報量が少ないものから多いものと分離されている、ということで非常に学習がしやすいということです。

もう1つは、地図のルールですとか、読み方が非常に分かりやすく説明されているということです。

大谷佐知子委員

私は、「帝国書院」が良いと思いました。

理由は、先程質問させていただきましたが、特徴として、堺市の地図であったり、大阪に関わる地図、京阪神地域の拡大地図など、子供たちの住んでいる地域の地図が掲載されているというのは興味を湧かすと思います。

また、29、30ページの見開きで日本の領土を見やすく、分かりやすく示しているのも良いと思いました。

和泉慎次委員

私は「帝国書院」を推薦したいと思います。

全体を通して、地図資料がかなり多く、関連する社会事象について様々な視点に想像を膨らませていくことができるような学習効果が期待できるのではないかと考えております。

谷口学教育長職務代理者

私も「帝国書院」が良いと思いました。

タイトルにありますように、楽しく学ぶというのがやはり地図帳ではいいのではないかと。

特に、見開きのページのところに各国の外国語が書かれているというのも、これから外国語を学んでいく教科書が始まっていきますので、そういった意味でも、小学生にとっては良い教材だと思います。

原田勝教育長

私は、「帝国書院」を推薦させていただきます。

理由としては、字も大きく、色もはっきりして、非常に地図が見やすいと感じます。

また、全体的に地図の資料が多くて、地図というものに対する興味を非常に持ちやすいのではないかと思います。

原田勝教育長

従いまして、「帝国書院」が過半数を越えました。

それでは、議案第20号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（地図）の採択について」は、「帝国書院」を採択することといたします。

原田勝教育長

次に、日程第5 議案第21号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（算数）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

中西多恵子指導室参事・指導主事

日程第5 議案第21号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（算数）の採択について」の御説明を申し上げます。

算数については5つの発行者がございます。全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。

奥田智子教育政策室主幹・指導主事

それでは、別表1-5、令和2年度使用教科用図書小学校用（算数）の選定具申の発行者順に御説明いたします。

はじめに、「東京書籍」につきまして、御説明申し上げます。

1年生の年度当初の教科書①を御覧ください。

A4サイズで別冊になっており、書き込みやすく、消しやすい素材を使用しております。

また、14ページ、15ページを御覧ください。

教科書自体がフラットに開くので、ページの端にもブロックを安定しておくことができます。ノートに慣れていないこの時期に使いやすいものとなっております。

次に、3年生の教科書下巻、80ページ中央の「まとめ」を御覧ください。数学的な見方・考え方を意識付けるために、該当する文言の箇所にも虫眼鏡のマークがついており、児童にとって分かりやすく、見やすいものとなっております。また、まとめの伏線として、数学的な見方・考え方を意識付けるために、補助発問や吹き出しにも同様のマークがついております。

次に、115ページを御覧ください。

2年生以降の教科書には、巻末にオプション教材「新しい算数プラス」として、原則、全単元、補充問題が設定されています。難易度別の2段階で構成されているので、個の習熟度に応じて取り組みやすくなっております。緑の△はそれぞれに記載のページの木のマークと同程度の基礎基本の問題になっており、黄色の○は、木のマークよりも少し難易度の高い問題が取り扱われております。

6年生の教科書、目次を御覧ください。

2年生以上の目次のページには、単元ごとに、「前の学習」、「後の学習」を示し、学習内容や数学的な見方・考え方の関連や系統が分かるように工夫されております。6年生では中学校への繋がりも記載されております。

続きまして、「大日本図書」につきまして、御説明申し上げます。

5年生の教科書、165ページを御覧ください。

メインキャラクターの一人、カルロス君等、外国籍児童や外国にルーツのある児童への配慮がなされています。

また、167ページを御覧ください。

割合の単元では、従来野球の打率を扱うことが多かったのですが、ソフトボールの打率を扱い、女性アスリートを登場させています。

次に、同じ教科書、178ページを御覧ください。

挿絵の下には、合科学習を視野に入れ、「リンク家庭科・リンク社会科」など、他教科リンクマークを付け、教科横断的な観点から他教科との関連を示す工夫があります。

1年生の教科書、72ページを御覧ください。

10より大きな数の説明が丁寧で、初めて学習する児童にとって分かりやすいものとなっています。

続きまして、「学校図書」につきまして、御説明申し上げます。

6年生の教科書を御覧ください。

教科書のサイズにつきまして、全学年、他の発行者に比べて横長で、見やすいサイズになっており、閉じにくくなっております。

同じく、4ページを御覧ください。

2年生以上の上巻の冒頭には、3つの学びの力、思考力・判断力・表現力について、児童に分かるような形で説明がされています。

別冊「中学校へのかけはし」、2ページを御覧ください。

6年間で獲得してきた、見方・考え方を振り返るとともに、中学校での内容の一部に触れることができるようになっています。

同じく、27ページを御覧ください。

中学校の内容といたしましても、これまで身に付けてきた、見方・考え方を使いながら、学習できることが示されています。

5年生の教科書上巻79ページを御覧ください。

単元の始まりでは、児童が問いを見つけるような仕掛けがあります。

92ページを御覧ください。

課題を解決するページでは、対話的な学びがイメージしやすいつくりになっています。

また、94ページを御覧ください。

課題を解決した後も、さらに揺さぶりをかけ、新たな課題へいざなうような吹き出しが挿入されています。

同じく、96ページを御覧ください。

倍の概念は、児童にとって理解の難しい内容だといわれています。「倍の計算」については、通常の単元とは別に特設単元として、整数、小数、分数のかけ算やわり算の学習のあとに、重点的に学習できるように工夫されています。

つまずきやすい問題として、5年生の割合、単位量当たりの重さをそれぞれ2つに分けて4つの単元とし、年間を通して、定着を図り、忘れたところに再学習ができる仕組みになっています。

続きまして、「教育出版」につきまして、御説明申し上げます。

2年生の教科書上巻6ページを御覧ください。

数学的な考えを引き出すヒントとなる言葉を、吹き出しを使って、児童の言葉で提示しています。

同じく、22ページ、23ページを御覧ください。

単元のはじめに、見開き2ページを使って、対話が広がるように作られており、導入での興味づけにじっくり時間をかける方針が貫かれています。

4年生の教科書下巻73ページを御覧ください。

線分図にマス目が書かれており、ノートのイメージが持ちやすく、児童にとって、書きやすいもの、見やすいものとなっています。

また、158ページを御覧ください。

巻末には、数直線の書き方や、垂直、平行な直線の書き方などが写真で示されていて、いつでも学年を超えた学び直しができます。

続きまして、「啓林館」につきまして、御説明申し上げます。

1年生の教科書、10ページを御覧ください。

1年生の始まりのときに、教科書に書き込むことを前提として、書いたり消したりしやすい紙質のものになっています。

3年生の教科書下巻58ページを御覧ください。

色覚特性への配慮から、色だけで区別するのではなく、黄色い棒なら、棒写真のそばに黄色、と文字情報も添えられています。

5年生の教科書、128ページを御覧ください。

面積の単元では、三角形の求積をしてから平行四辺形の求積をする配列になっており、どのような多角形でも三角形を基準に考えればよいことが大切にされ、他者とは違う配列になっています。

続きまして、「日本文教出版」につきまして、御説明申し上げます。

2年生の教科書巻末を御覧ください。

「学び方ガイド」は2年生以上の教科書にあり、学びの手掛かりになるので、特に苦手意識のある児童にとっては分かりやすいものとなっております。

同じく巻末121ページを御覧ください。

「算数マイトライ」も、2年生以上の教科書に設けられており、3段階の難易度に分かれた補充問題があり、習熟度に応じて取り組みやすくなっております。

続きまして、4年生の下の教科書113、114ページを御覧ください。単元の終わりに「わかっているかな」、「まちがいやすい問題」、「たしかめポイント」の3つがあり、定着に時間を要する児童に対して丁寧な指導がしやすくなっております。また、全学年、教科書が上下に分かれていますので、1年生の児童にとっては持ち運びがしやすいものとなっております。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

新学習指導要領に沿った内容で、特徴的なところはありますか。

全発行者とも、児童が問題意識を持って、主体的に算数に取り組めるよ

うに、日常生活から問題を見出すなどの数学的活動が取り入れられています。

特に、「数学的な見方・考え方」については中学校への繋がりという点でも大切であり、特徴的な取扱いをしている発行者として、「東京書籍」は、数学的な見方・考え方の文言の箇所にマークが付いており、児童にとって、分かりやすく、見やすいものとなっております。

「教育出版」は、数学的な考え方を引き出すヒントとなる言葉を、吹き出しを使って、児童の言葉で提示しています。

「日本文教出版」は、各学年に1箇所、問題を考える際に働かせる、「見方・考え方カード」が板書例の中で適宜使われており、学びの進め方が可視化されています。

「啓林館」は、「学びのめばえ」マークで主体的な考え方や気づきを示しております。

興味・関心を持たせるための工夫には、どのようなものがありますか。

全発行者とも、単元の導入では、身近な題材から算数の問題を見出し、既習事項を発展させて、児童自身が新たな問題をつくったりできるようにして、目的意識をもって数学的活動に取り組めるように工夫されています。

その中でも特徴的なものとして、「教育出版」は、単元の始まりで、見開き2ページを使って対話が広がるように作られており、児童の主体的な学びを引き出すような工夫があります。

「大日本図書」では、単元の導入や毎時の導入では、主体的に学習に取り組めるような題材を工夫し、自ら課題を見出す活動を通して、学びに向かう姿勢を身に付けていくよう工夫されています。

児童がつまずきやすい内容についての工夫にはどのようなものがありますか。

「日本文教出版」は、単元内で学習した内容を単元終わりで再度取り上げ、類似問題を提示し、学習内容の定着を図れるような工夫がされています。

さらに特徴的なものとして、「学校図書」では、つまずきやすい単元とされる割合や単位量あたりの大きさについて、それぞれ2つの単元にして、年間を通して定着がはかれるような工夫がされています。

「啓林館」では、5年生の面積で、どんな多角形でも、三角形に分ければ面積が求められる考えにより、三角形の求積をしてから平行四辺形の求積をする配列となっております。この点に関しましては、他者と異なる配列となっております。

プログラミング学習について、どのように扱われていますか。

全発行者ともに、プログラミング学習を扱っております。

その中でも、「東京書籍」と「学校図書」、「啓林館」においては、机上でのプログラミング学習とQRコード等を使い、情報機器を使用してのプログラミング学習の両方が準備されています。

谷口学教育長職務代理者  
奥田智子教育政策室主幹・指導主事

大谷佐知子委員

奥田智子教育政策室主幹・指導主事

和泉慎次委員

奥田智子教育政策室主幹・指導主事

「大日本図書」は、全学年でプログラミング学習を位置付けており、1年生から4年生ではコンピューターを使わない数学的活動を通して、プログラミング的思考に触れるよう工夫されています。

安達友基子委員

発展的な学習について、特徴的なところはありますか。

奥田智子教育政策室主幹・指導主事

「東京書籍」は補充の問題が2段階の難易度で構成されており、習熟度に応じて取り組めるようになっていきます。

「教育出版」でも、補充問題で基本の問題、ジャンプ問題の2段階が用意され、個々の学習の進み具合に応じて使いやすくなっています。

「日本文教出版」では、「算数マイトライ」で、3段階の難易度に分かれた補充問題が用意されています。

原田勝教育長

スタートカリキュラムや、中学校への接続について、特徴的なところはありますか。

奥田智子教育政策室主幹・指導主事

「東京書籍」は1年時当初の学びやすさを考慮し、書込みを前提とした編集で、ノートが不要になっております。

「大日本図書」は、「数学の世界へ」や「中学校の数学ではこんなことを学ぶよ」のページで、あまり数式を用いずに、中学校の内容を簡単に紹介しています。

「学校図書」は、「中学校へのかけ橋」という別冊があり、6年間で獲得してきた「見方・考え方」を振り返るとともに、中学校の内容の一部に触れることができます。

「教育出版」では、「開け！算数ワールド」で中学校の数学について触れ、動機付けを図っています。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、算数についての審議を終了いたします。

それでは、議案第21号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用(算数)の採択について」の委員の御意見をお願いいたします。

安達友基子委員

私は「東京書籍」が良いと思いました。

理由として、1年生の入門の書込みの部分が、とても使いやすいだろうなと思うところが1つと、他の学年でも、数学的な見方や考え方のところにマークが付いているのが、分かりやすいと思ったのが主な理由です。

福田知弘委員

私は「学校図書」が良いと思いました。

一番つまずきやすいと思われるところは、各単元、特に割合などあったかと思うのですが、その導入部分が丁寧に書かれていて、なぜそれが必要であるかというのを社会的な部分に繋げて、段階的に記載されているということと、大きさ的にも工夫しており、見やすいと思いました。

大谷佐知子委員

私も「学校図書」が良いと思いました。

理由は、福田委員が言われていたように、つまずきやすい箇所に対しての配慮がされているということと、全体的に見開きがしやすいということ、また、中学へのかけ橋という別冊で、丁寧に6年生の獲得したことから、中学生の学びへ繋げているところが良いと思いました。

和泉慎次委員

私は「学校図書」を推薦させていただきたいと思います。

単元の始まりに、児童が問いを見つけるような工夫がなされており、また、児童がつまづきやすい単元では、重点的に学習できるように年間を通して定着が図れるように、工夫をされています。

また、課題解決そして、新たな課題と進んでいくように工夫がされている。そのところから推薦いたしました。

谷口学教育長職務代理者

私も「学校図書」を推薦したいと思います。

「東京書籍」とともに内容的には良いと思うのですが、「東京書籍」の小数の足し算や引き算の取組について、小学3年生の下巻なのですが、9ページの部分を読んでいて、分かりにくい説明の書き方をしているように思いました。

0.3 + 0.2は、0.1を基にして、3 + 2で求めることができるというところが、0.3を0.1で割って3にするという複雑なことを何故させるのかが理解できないような気がしまして、「学校図書」を推薦します。

原田勝教育長

私は、「学校図書」を推薦いたします。

思考力、判断力、表現力という3つの学びの力が分かるように示されており、印象の一貫性が見受けられるということと、1年生から6年生まで系統的に説明されていると思います。

また、活用的な問題が非常に見方としては面白いと思いましたので、「学校図書」を推薦いたします。

原田勝教育長

従いまして、「学校図書」が過半数を越えましたので、議案第21号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（算数）の採択について」は、「学校図書」を採択することといたします。

原田勝教育長

次に日程第6 議案第22号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（理科）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

中西多恵子指導室参事・指導主事

日程第6 議案第22号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（理科）の採択について」の御説明を申し上げます。

理科については5つの発行者がございます。全ての発行者について御説明の後、御審議いただきまして1つの発行者を採択していただきますようお願い申し上げます。

坂本健一教育センター主幹・指導主事

それでは、別表1-6、令和2年度使用教科用図書小学校用（理科）の選定具申の発行者順に御説明いたします。

各発行者基本的に、6年生の教科書を使って説明いたします。

はじめに、「東京書籍」から説明いたします。

4ページ、「理科の学び方」を御覧ください。

男の子の写真の入っている学習の4つの場面、「問題をつかもう」、「予想しよう」、「計画しよう」、「考察しよう」は、問題解決に向けた思考の手順を表していますが、理科では、その手順を重点的に取り扱う学年が定められております。学年ごとの重点的に扱う思考の場面を「レベルアップの理科」というコーナーで強調して示しております。

15ページ下段「レベルアップの理科」を御覧ください。

先程申しました、6年生の重点「考察しよう」について、詳しく取り扱い、重点部分を意識しやすくなっております。

版のサイズは、A4版を採用し、資料写真等は鮮明で美しいものや、実物大でダイナミックなものを掲載し、児童の気付き、疑問を引き出す資料となっております。

201ページを御覧ください。

巻末資料「理科の調べ方を身につけよう」では、ノートの手書き方、発表の仕方、といった学習活動の手引きとなるものや、理科室の使い方等の理科の専門的知識、また、他教科である算数科との繋がりなどを掲載し、基礎・基本の定着を図れるようになっております。

次に、「大日本図書」について説明いたします。

6年生126ページ中段の注意マークを御覧ください。

野外活動や動植物を扱う上での注意が示されております。

併せて、11ページを御覧ください。

器具や薬品の取扱いなどで、事故の恐れのあるところには注意マークが記されております。

危険な理由が具体的に書かれているため、注意点を認識しながら安全に取り組めるよう配慮されております。

5年生2ページ、6年生2ページの目次を御覧ください。

発達段階に応じ、問題解決の力で重点的に取り組む活動に赤色の星マークが付されております。

6年生54ページを御覧ください。

今申しました、6年生の重点部分「考察」に星マークがついており、観察実験の結果から考察したり、説明したりする活動を促しています。

43ページを御覧ください。

単元毎、各所に「サイエンスワールド」、「りかのたまてばこ」などの資料が掲載されており、科学技術と人との関わりを示すと共に、主体的に学ぶことができるようになっております。

次に、「学校図書」でございます。

6年生4ページを御覧ください。

各学年の巻末にある「科学のめを育てよう」では、問題解決の手順を「みつけよう」、「調べよう」、「まとめよう」と示しております。各ページの一番下には、問題解決の流れが分かる、流れのバーで手順を示しております。

47ページ中段を御覧ください。

単元初めにあるキュリー先生のアニメの吹き出しでは、その単元で身に付けたい資質・能力が明示されております。

125ページを御覧ください。

「話し合い」では、多くの異なる意見から自分の考えを深められるように促しております。

169ページを御覧ください。

問題解決に向けて、図で考えを示すことやフローチャートを使い、違う視点で考えたり表現したりする場面を設けております。

212ページを御覧ください。

巻末には、話し合いの仕方や、記録の仕方、器具の使い方などがまとめられており、基礎・基本の定着を図れるようになっております。

続いて、「教育出版」でございます。

8ページを御覧ください。

巻頭の「学習の進め方」では、問題解決に向けた手順を、「問題を見つける、自分の考えをつくる、自分の考えを確かめる、分かったことを表現する」というくくりで整理して記すとともに、「見つけよう」から「結論」までの流れが7つのステップで示されており、見通しをもって学習を進められるよう工夫されています。

児童キャラクターのイラストで児童が見方・考え方を働かせながら学ぶ姿が示されています。

裏表紙を御覧ください。

裏表紙に「理科の安全の手引き」を掲載することで、いつでもすぐに確認でき、安全に留意して学習することができるように工夫されています。

34ページを御覧ください。

6年生で重点とされる、問題解決の手順「結果から考えよう」の部分では、先生が登場し、子供たちに対して学習のポイントを示す、という構成になっております。各学年の目指す問題解決の手順の重点部分に先生が登場することで、大切なところを印象付けております。

168ページ左下を御覧ください。

単元初めに「学習のつながり」で学習の系統や既習内容との関連を確認できるようにしていたり、169ページ左下、「思い出そう」で活用したい既習内容を示し、系統的に学習を進められるように工夫されています。

次に、「啓林館」について説明いたします。

6ページを御覧ください。

巻頭に問題解決に向けた「①見つける」、「②調べる」、「③ふり返る」の流れを示し、進め方が分かるよう工夫されております。

また32ページから34ページを御覧ください。

問題をつかむところから、実験、まとめまでの流れが、フラッグとラインで繋がれており、手順を間違わず学習が進められるように工夫がされています。

67ページを御覧ください。

単元導入での「はじめに考えてみよう」でこれから学習する内容に注目させ、80ページを御覧ください。単元終わりには「もう一度考えてみよう」に学習前の意識に立ち戻ることを促し、学びの深まりを実感できるように工夫されております。

61ページ下段を御覧ください。

「家庭科」などの他教科のマークを入れることで、関連を意識させてお

ります。

82、83ページを御覧ください。

「これまでの学習をつなげよう」で複数の単元で学習したことを関連付けて考えられるように工夫しております。

180ページを御覧ください。

プログラミング教育に関連する部分では、巻末付録のシートとシールを使って作業ができるよう工夫がされております。

80、81ページを御覧ください。

単元末の「活用しよう」で学んだことを身近な生活に応用する力を養う工夫や、「理科の広場」や「つなげよう」で社会や日常生活との関連を意識させる資料が掲載されております。また、単元末には「ふり返ろう まとめノート」で学習内容を振り返り、「たしかめよう」で学習内容の定着を図ることができる構成になっております。

199ページを御覧ください。

巻末に「フムロウ博士の資料室」を設け、ノートのまとめ方や算数科との繋がり、器具の使い方「ものづくり広場」などがまとめられており、基礎・基本の定着から活用に至るまで、様々な資料が掲載されております。

以上でございます。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

理科は探究活動が大切だと思いますが、学習の流れや繋がりが分かりやすいのはどの教科書ですか。

各者、巻頭に理科の学び方を示すページを配置し、流れが分かるように工夫されておりますが、特徴的なのは「学校図書」で、教科書のページ下部に、学習の流れのバーが明記されており、今どの活動を行っているのか確認しやすいつくりになっています。

「啓林館」では、「問題」から「まとめ」までの小見出しがページ左にフラッグとラインで繋がれており、学習過程が確認しやすい点や、「問題」や「まとめ」などの表記は、白抜き文字で見出しが見やすくされているといった工夫がされております。

学習活動の中でも、観察や実験の場面は重要だと思いますが、活動がイメージしやすく説明されている、分かりやすい教科書はどれですか。

各発行者ともに、実験のめあてや手順が分かりやすく示されておりますが、「大日本図書」や「教育出版」では、実験を取り扱うページは背景をクリーム色で統一し、写真やイラストが目に入りやすいよう、工夫されております。

また、実験・観察ページの情報量を最低限にすることで、内容について着目しやすくなっております。

観察や実験を行う時などの、安全面の配慮で特徴的な発行者はありますか。

実験や観察の際の安全面の配慮は不可欠ですが、各発行者とも、取扱いの注意が必要な場面では、「きけん」、「注意」のマークで注意喚起し、赤文

原田勝教育長  
谷口学教育長職務代理者

坂本健一教育センター主幹・指導主事

福田知弘委員

坂本健一教育センター主幹・指導主事

安達友基子委員

坂本健一教育センター主幹・指導主事

字で強調するなど配慮しております。

「教育出版」は裏表紙に理科の安全の手引きを掲載し、注意すべき点がいっつも見られるようになっていくところが特徴的です。

和泉慎次委員

「理科の見方・考え方」を働かせて知識や技能を習得することが大事とされていますが、前後の学年との繋がりや系統が分かりやすい教科書はどれですか。

坂本健一教育センター主幹・指導主事

各者、既習事項の記載や「理科の見方・考え方」のヒントとなる記載がある中、「東京書籍」では、単元初めに「学んだことを使おう」というコーナーで既習事項を意識させています。

「学校図書」では、新しい単元の前に、既習事項と関連の深い単元を取り扱う特設ページを配置するなどの工夫も見られます。

また、「教育出版」では「学習のつながり」や「思い出そう」で、学習の系統性を意識できるよう工夫されています。

大谷佐知子委員

理科離れとも言われる中、理科が役に立つ、楽しいと思えるよう、学習が実生活に関連していることや、理科の有用性を感じられる工夫のある発行者はありますか。

坂本健一教育センター主幹・指導主事

各者、読み物資料の充実や単元終わりに生活と繋げるための工夫がされております。

中でも「東京書籍」では「まとめ」の後に「学びを生かして深めよう」で、学習したことを活用する発展問題が掲載されています。

また「理科のひろば」では、生活との関連についても紹介しており、繋がりを意識させる工夫が見られます。

「大日本図書」では「りかのたまてばこ」などで、環境や伝統といったマークも多数あり、生活との関連や活用について数多く紹介されています。

「啓林館」でも、単元末の「活用しよう」で、実生活に活かせる活用問題が掲載されているほか、「つなげよう」や「資料」で自然事象や生活との関連が紹介されており、実生活との繋がりを意識しております。

谷口学教育長職務代理者

知識・技能の定着や、学習の積上げを意識した資料などが、充実している発行者はありますか。

坂本健一教育センター主幹・指導主事

各者単元末に学習内容を振り返ったりまとめたりする構成となっております。

「東京書籍」では単元末の「たしかめよう」に、問題の該当ページが表記されていたり、チェックボックスを設けたりして習熟度を児童自身が確認できるよう工夫されています。

「大日本図書」でも、単元末の「たしかめよう」に加え、巻末に「～年生のまとめ」や、チャレンジ問題を配置し、定着を図る工夫がされております。

また、「啓林館」では、単元末の「まとめノート」で、新しく学習した用語の一覧をチェックできるコーナーや、巻末資料で実験・観察に必要な器具の使い方、ノートのまとめ方等がまとめられており、技能の定着が図れるよう工夫されています。

原田勝教育長  
坂本健一教育センター主幹・指導主事

プログラミング教育の実施にあたり、学習しやすい発行者はありますか。各者プログラミング教育について取り扱っております。

中でも「学校図書」では「指示ブロック」という図形を組み合わせるプログラムを作成する方法が分かりやすく掲載されております。

「啓林館」でも電球の明かりを付けたたり消したりするプログラムをシールを使って体感しながら学習できるように工夫されております。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、理科についての審議を終了いたします。

それでは、議案第22号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（理科）の採択について」の委員の御意見をお願いいたします。

安達友基子委員

私は「啓林館」が良いと思いました。

理由としては、御説明いただいたフラッグとラインの表記があって分かりやすいと思ったことと、各単元末の「まとめノート」も良いなと思いました。また、巻末の器具の使い方も分かりやすく書かれているので「啓林館」が良いと思いました。

福田知弘委員

私も「啓林館」が良いと思いました。

単元の導入のところが大事だと思うのですが、そこでダイナミックな写真が使われていたり、子供の疑問について考え始めるような工夫が、写真等を上手く使いながらされていると思いました。

また、実社会や実生活との関連が上手く紹介されていると感じられましたので、「啓林館」を選びました。

大谷佐知子委員

私も「啓林館」が良いと思いました。

安達委員が言われたように、フムロウ博士の資料室での「つなげよう」や、社会の実生活との関連付けや身近な生活に応用するような「活用しよう」という表現で工夫されているということが良いと思いました。

和泉慎次委員

私も「啓林館」を推薦したいと思えます。

単元ごとに「かんがえてみよう」と、学びを深めていけるような工夫がされており、また、ノートのまとめ、算数との繋がり等で基礎・基本がしっかりと理解されるように記載されているので良いと思いました。

谷口学教育長職務代理者

私も「啓林館」が良いと思えます。

全体的なバランスも良くできておりますし、みなさんと同じように、フムロウ博士の資料室も良くできていると思えます。

また、6年生の65ページにあります、レインボーローズというのが、1枚の写真を見て、なるほどなと良く分かり、そのような資料が多数揃っているというのが良いと思いました。

原田勝教育長

私も「啓林館」が良いと思いました。

レイアウトが見やすく、分かりやすい印象で、巻頭にノートの取り方や、巻末にノートのまとめ方があり、全体的にも分かりやすいと思いました。

原田勝教育長

それでは、「啓林館」が過半数を越えましたので、議案第22号「吹田市令和2年度使用教科用図書小学校用（理科）の採択について」は、「啓林館」を採択することといたします。

原田勝教育長

本日の議事日程を終了いたしました。  
次の会議は7月29日の午後2時の再開といたしますので、御参集願  
います。  
それでは、これをもちまして本日の会議を終了します。

午後4時53分